

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : CA 30 R
 会社名 : ケルヒージャパン株式会社
 住所 : 〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639-3
 担当部門 : サービス部 担当者 ; 村岡 浩貴
 電話番号 : 045-438-1324
 FAX 番号 : 045-438-1320
 メールアドレス : muraoka@karcher.co.jp
 緊急連絡電話番号 : 045-438-1321
 推奨用途及び使用上の制限 : 家具や床の洗浄

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	引火性液体	: 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口)	: 分類できない
	急性毒性(経皮)	: 分類できない
	急性毒性(吸入)	: 分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境有害性	水生環境有害性(急性)	: 分類できない
	水生環境有害性(長期間)	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	・なし
注意書き	
[安全対策]	・なし
[応急措置]	・なし
[保管]	・なし
[廃棄]	・なし

※なし：GHS上の要素はないが、その他の注意事項は4項～13項等を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : 洗浄剤

成分	濃度範囲 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
水	≥90	H ₂ O	対象外(化審法) 既存(安衛法)	7732-18-5
1-メキシ-2-ヒドロキシ ^o ロハ ^o ン	1~<5	C ₄ H ₁₀ O ₂	2-404(化審法・安衛法)	107-98-2
イソ ^o ロ ^o アル ^o コ ^o ル	1~<5	C ₃ H ₈ O	2-207(化審法) 2-(8)-319(安衛法)	67-63-0

4. 応急措置

- | | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆い保温し安静に保つ。 ・ 呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で酸素吸入あるいは人工呼吸を行う。 ・ 必要に応じて医療措置を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。 ・ 付着した部分は流水で流した後、石けんを用いてよく洗い落とす。 ・ 痒み、痛み等、皮膚に異常が生じた場合は医師の診察を受ける。 |
| 眼に入った場合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 清浄な多量の水で最低 15 分間眼を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。 ・ 洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。 |
| 飲み込んだ場合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 水で口の中をすすぎ多量の水を飲み、医師の診察を受ける。 ・ 無理に吐かせてはならない。 ・ 嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------------------|---|
| 消火剤 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡、水噴霧 |
| 使ってはならない消火剤 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 強力な棒状注水 |
| 火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 有毒なガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)が発生するおそれがある。 ・ 初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 ・ 大規模火災の場合は、耐アルコール性泡消火剤で空気を遮断し、一気に消火する。 ・ 周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。 ・ 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 ・ 消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。 |
| 消火を行う者の保護 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。 |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- ・回収作業の際には保護具を着用すること。
- ・風下で回収作業をしてはならない。

環境に対する注意事項

- ・多量の水で希釈する。
- ・土壌に浸透させてはならない。
- ・下水、河川、排水溝等に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・少量の場合はペーパータオル、ウエス等に吸収させ、密閉式の容器に回収する。
- ・多量の場合は土砂等で流れを止め、液の表面を泡で覆い、乾燥砂又は不燃性吸着剤に吸収させ、密閉式の容器に回収する。
- ・回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・必要に応じて排気装置を用いる等、換気の良い場所で取扱うことが望ましい。
- ・蒸気の吸入及び皮膚との接触は極力避ける。
- ・ばく露のおそれがある場合は、適切な保護具を着用すること。
- ・取扱い後はうがい、手洗い、洗顔を励行する。
- ・長期間の取扱い、あるいは反復したばく露はできる限り避ける。

保管

- ・経皮的に吸収される可能性があるので、取扱いには注意する。
- ・直射日光及び高温を避け、乾燥した換気の良い場所に保存する。
- ・混触危険物質から離して保管する。(第10項参照)
- ・容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・必要に応じて排気装置を用いる等、換気の良い場所で取扱うことが望ましい。
- ・取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置するのが望ましい。

管理濃度 作業環境評価基準

- ・200ppm(イソプロピルアルコール)

許容濃度

日本産業衛生学会¹⁾
ACGIH-TLV²⁾

- ・(最大許容濃度)400ppm(イソプロピルアルコール)
- ・(TWA)50ppm(STEL)100ppm(1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン)
- ・(TWA)200ppm(STEL)400ppm(イソプロピルアルコール)

注) (TWA): 時間加重平均値(8時間) (STEL): 短時間ばく露許容濃度(15分間)

保護具

- 呼吸用保護具 : 必要に応じて防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等
- 手の保護具 : 不浸透性の保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣、保護長靴、前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

外 観	: ライトブルーの液体
臭 い	: 果実臭
臭いの閾値	: データなし
pH	: 8.6(20℃)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 100℃
引 火 点	: 60℃(燃焼持続性がないと推測される)
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸 気 圧	: 43hPa(20℃)
蒸気密度	: データなし
密 度	: 0.995g/cm ³ (20℃)
溶 解 度	: 水に可溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: 発火しない
分解温度	: データなし
粘 度	: データなし
(参考データ) ³⁾	
融点・凝固点	: -96℃(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、-90℃(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
沸点、初留点と沸騰範囲	: 120℃(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、83℃(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
引 火 点	: 38℃(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、11.7℃(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 1.9~13.1vol%(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、2~12vol%(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
蒸 気 圧	: 1.2kPa(20℃)(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、4.4kPa(20℃)(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
蒸気密度	: 2.1(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
比 重	: 0.92(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、0.79(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
溶 解 度	: 非常によく溶ける(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、混和する(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
n-オクタノール/水分配係数	: 0.05(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)
自然発火温度	: 270℃(1-メキシ-2-ヒド`ロキシ`ロハ`ン)、456℃(イソ`プロ`ピ`ルアルコール)

10. 安定性及び反応性

反 応 性	・危険有害反応可能性の項参照。
安 定 性	・通常取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	・混触危険物質に触れると反応するおそれがある。
避けるべき条件	・直射日光、高温
混触危険物質 ³⁾	・強酸化剤、酸塩化物、酸無水物、アルミニウム、銅
危険有害な分解生成物	・高温に晒されると有毒なガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)が発生するおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水

データは無いが水生環境有害性は低いと考え、区分外とした。
有害性は、GHS 有害性区分より低い。

イソプロピルアルコール

フアットヘッドミノー	LC ₅₀ (96h)	9640	mg/L ⁶⁾
ジシコ	EC ₅₀ (48h)	13299	mg/L ⁶⁾
藻類	EC ₅₀ (72h)	>1000	mg/L ⁶⁾

注)LC₅₀:半数致死濃度 EC₅₀:半数遊泳阻害濃度

残留性・分解性

記載すべき成分データなし

生体蓄積性

記載すべき成分データなし

土壌中の移動性

記載すべき成分データなし

オゾン層への有害性

水

データは無いがオゾン層への有害性は低いと考え、区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・多量の場合は認可を受けた専門業者に委託する。
- ・関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。

汚染容器及び包装

- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
- ・関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号

: 非該当

品名

: 非該当

国連分類

: 非該当

容器等級

: 非該当

応急措置指針番号

: 171

海洋汚染物質

: 非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- ・車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書(イエローカード)を渡す。
- ・容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- ・タンク車(ローリー)への充填や、積み下ろし作業の際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。
- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。
- ・輸送関係法規を厳守する。

15. 適用法令

消 防 法	: 指定可燃物 可燃性液体類 (数量 2m ³) (製品)
化 審 法	: 優先評価化学物質(イソ ^o ロビ ^o ルアルコール)
労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(リスクアセスメント対象) 表示対象物(1-メキシ-2-ヒト ^o ロキシ ^o ロハ ^o ン(法文名:プロピ ^o レン ^o グリコールモノメチルエーテル)、イソ ^o ロビ ^o ルアルコール) 通知対象物(1-メキシ-2-ヒト ^o ロキシ ^o ロハ ^o ン(法文名:プロピ ^o レン ^o グリコールモノメチルエーテル)、イソ ^o ロビ ^o ルアルコール、トリエタ ^o ナルア ^o ミン)
毒劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 非該当

16. その他の情報

引用文献	: 1)「許容濃度等の勧告(2018年度)」 産業衛生学雑誌 60 巻 2)2018 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH) 3)国際化学物質安全性カード(ICSC)(国際労働機関/ILO) 4)Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (CCOHS) 5)GHS 分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) 6)製造メーカーの「安全データシート」(2019年) 7)化審法データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
記載内容の問合せ先	: ケルヒヤージャパン株式会社 サービス部 電話番号 ; 045-438-1324

この SDS は JIS Z 7253(2012)、GHS 分類は Z 7252(2014)に準拠して作成しています。

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。